

日光を求めらる



徳久孝子

◇晴れた日の保育室を庭へ◇

お天気の日には出来るだけ屋外保育をした。狭い室内にはかりこじこもらずに、粘土製作も、お絵かきも、お話や、唱歌や、リズム遊びは勿論のこと、背庭で出来る。ピアノがなければ歌の指導が出来ないという様に考えないで、晴れた空に向つて先生が歌えば幼児も喜んで歌う。屋上の片隅で無心にお話をきく幼児の頭の上を日が暖かく照らす。お弁当も勿論お庭で。……それどころか、「今日は遠足だね〜」と大喜びだ。……食後の一休みに屋上で皆横になつて高い空を仰ぐのも、気持ちだ。白い雲の見つけっこをしたり、雲のいろくんな形を話しあひをする。夏に見た入道雲や夕焼の色も、更めて思い出に浮ぶ。「記憶観察」とでもいう訳か。

◇小園外保育◇

土のある花壇といつても猫のひたいのようにせまく、コンクリートの堅い都会の幼稚園ではつとめて園外保育を行つて日に浴し土に親しませたい。秋の間登園の途中に葉がはぜていたり、ばつたが飛んでいる郊外の幼稚園児はなんと恵まれている事かとつくづく思う。園外保育といつても乗物により遠方へ出

ることもよいが、近くの小公園、空地等で適当な所があれば出来るだけ利用したい。従来幼稚園の遠足という、春と秋に一回位、しかも、附添のかげに幼児がいるというような物見遊山のものとしまつていたが、そういう大がりのことばかりでなく、保育室を園外に延長するだけの園外保育を数多く行いたいと心がける。但し目的地に着いてすぐ解散自由行動というだけでは園外保育といえない。附添が無ければ、

- ・自分の事は自分で責任をもつ。
- ・人と協力して行動をする。
- ・また、交通機関による躰もいろいろしたいし、道の歩き方、乗り物ののり方、車中の作法

・公共物を大切にする習慣もつけたい。
・食事のしかたについての指導等を十分に行う事は、園外だけに一層大切である。

今の幼児が成長の暁には、公園や遊覧地が紙屑や食物の食べ残りで汚れるというような事が絶対なくなるように徹底させたい。

私共の園では園外保育の時、お菓子の共同購入を行つているが、非常に喜ばれている。各自が家庭で購入するとキャラメルにチョコレートに、と相当の出費がかかる。又少くても可愛相だという親心からか、あれもこれも

と持たせて来るので、食べ残して持ち帰った
り又食べ過ぎる心配も起る。一人の幼児の遠
足の為に他の兄弟の分も購入したり雨で延期
の時は二重の負たんにもなる。園で共同購入
すれば、僅か一人三十円位で適量のお菓子と
果物が用意できる。雨で延期になつた時は防
湿剤を入れて仕舞つておける。第一先生も、
お友達も同じお菓子をいただくというので、
不平も起らないし羨望も起らない。幼児達は
二三日前からお菓子の袋を作つたり、それに
銘々好きな絵を書いたりして、それがまた一
つの楽しみに、お仕事にもなる。

園外保育には、いろいろの有益な、生きた
見学やいろいろのことがその時々のカリキミ
ラムによつて行われるし、園に帰つてからも
或は共同製作に、或はごっこ遊びに、十分に
発展させていつて、幼児の思想が豊かになる
ように後々、りしたい。先日或る先生は、絵
の指導で最もよい事が度々園外保育を行うこ
とでできると言われた。

秋のことだが、私共の園で虫とりをした折
のこと蚊やり線香の空箱等で、めいめい虫か
ごを作つたりして前から楽しみにして居たが
その日は一人で廿四もとれて大喜び。オート
が箱をこわして飛び出すという、経験がで
きた。又、園外保育の翌朝早く来た輝ちゃん

が、目を輝かして飛んで来ての報告に……

「先生、僕の虫、きのうの夜ないたよ」

「そう、どんななき方したの」

「チョン／＼スイッチョンつてね。僕びつ
くりしちやつたよ」

その顔のなんと嬉しそうなこと。

「そう、よかつたわね、ぢやあ昨日のバッ
タさんの中に、きつとキリギリがは入つ
ていたのよ。どんな虫がないたか分つた」
「うん、お腹が太つていて、ヒゲもあつた
よ」

「今晚もきつとなくよ。僕、お母さんに貰
つてキウリあげたの」

「そうね、大事に飼つてあげると毎晩なき
ますよ」

輝ちゃんは自分のとつた虫だけにどんなに
か楽しいことだろう。

又、幼稚園のお室に飼つている虫の中へ誰
かが、「かまきり」を取つて来て一しよに入
れた。すると間もなく男の子二三人が憤慨し
た様に飛んで来て……

「先生、大変々々かまきりがバッタを食べ
ちやつたよ。かまきり、追い出してしまお
う」

「そうだ、追い出そう」
やがてかまきりは庭になげ出されていた。

「先生、虫は鳴く時に羽根を動かすね」

こんな報告もして来た。幼児達は必ずしも
鳴かせる積りでなかつたから、色々のことが
発見になる。

◆小運動会◆

行事としては秋に必ず行われる事と思うが
年一二回の大行事としてはかりでなく、行い
たい。見せる為の運動会でなく、幼児が正し
く協力して事を行う自分達の楽しい会であつ
てほしいと思う。規則を守つて皆と一緒にす
る楽しさを味わせたいとも思う。当日の成果
にばかりこだわることなく、色々の準備も幼児
と共にしながら、その日を自分達のものとし
て楽しみにさせたい。

又最近方々で行われているように、親子競
争、親子遊戯などもして、親が子供と一つに
なつて楽しむ機会を作るのは極くよい事と思
う。お父さんも走つた。お母さんもやつた
という事は、自分達の運動会も皆も喜んでくれ
たという意味で、幼児にとつてどんなに嬉し
いことかしない。

幼稚園でする競技種目も、鈴割りとか球入
れとかのいつも同じ事はかりでなく、先生の
創意工夫によつて色々と新しいものを考えて
行きたい。その一二の例として、

『僕達の顔』というのがある。幾組かに別れ、リレー式で馳けて行つて、向うに張つてある紙に顔を書く競技。一番の子は思い切り大きく顔のりんかくを書いて来る。二番目の子は片方のまゆ毛、四番目の子は目というようにすると、色々の顔が出来上つて大喝采。

『お城が出来た』というのもある。

大積木を運んでいつて家を作る競技。積木の数をきめて、大きいのを下にする約束をしておけば、色々の形になつて面白い。

『走れ〜電車(又は汽車)』

ベニヤ板と細い質で電車(又は汽車)の枠を作り、中に二人づつは入り、中から両手で持つて走りつこをする。或は底をつけ、車をつけて押し走つてもよい。運動会がすんだら乗物ごっこ遊びに使える。その日のよびものに、

『みりの秋』というのもある。

かゝしの胴体を作つておいて、笠をかぶらせたり、顔をかいたり、弓を持たせたりして滑稽な案山子を作りあげる競技。

乗物にしても、案山子の材料にしても、前から幼児の手で作らせることが出来るし、この他一寸考えれば色々あると思うが、なるべく、幼児の生活に近いものの中から取材していきたい。

大した新案でなくても、幼児は大喜びだ。先生の喜びは、きょう一日戸外の日光に恵ま

れた幼児達の紅い頬だ。

(東京都番町幼稚園教諭)

書評

山下俊郎教授新譯

ゲゼル著『乳幼児の心理学』を薦む

倉橋 惣三

予てから、我國の保育者諸君に是非薦有の児童研究上の指導的文獻とされていめたいと思つていたゲゼル教授の『幼児の心理学』が山下俊郎君によつて新訳せられた。我國保育界のために、真に欣びにたえない。此の書が最も權威的のものであることは、世界の学界の広く推稱するところで、保育者必読書中の必読書である。

七百廿頁の長篇であり、訳者の労大に多としなければならぬ。先づ『乳幼児期の精神発達』の通説を第一部として、以下第二部『精神発達の段階』第三部『児童における個性の研究』を、各章小節に亘つて詳説し、更に『発達検査の記録と整理』が添えられてある。流暢する全訳である上に、ゲゼル児童研究所特

らすにまい。此の堂々たる學術書が、幼稚園、保育所に必備せられて広く精読せられんことを心から薦める。(社団法人新教育協会發行。東京都中央区銀座一丁目大日本圖書株式会社発売。定価金壹千円)